Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第17回（10/9）　片岡洋子先生推薦　ブックガイド

※掲載されている本はN棟3階ブックツリーのテーマ展示コーナーに配架されます。

Book1

山びこ学校

著者：無着成恭　出版社：岩波書店

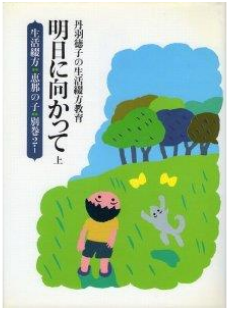
コメント：山形県山元村の中学校の生徒たちの生活綴方と詩を収録した文集。指導者の無着成恭がそれぞれの作品が生み出された社会科の実践について述べている。
戦後、生活綴り方教育の復興に貢献しただけでなく、当時はベストセラーとなり、映画化もされ、工場や農村の青年たちの生活記録運動にも大きな影響を与えた。

Book2

丹羽徳子の生活綴り方教育『明日に向かって』

編集：恵那の子編集委員会　出版社：草土文化

コメント：岐阜県中津川市坂本小学校で丹羽徳子が担任した小学校5，6年生の学級での生活綴り方教育実践（1975－1976年度）の記録。何のために書くのかを考えさせ、書くことの自由を保障した丹羽の実践は、当時、現代的生活綴り方教育の展開として注目され、高く評価されたが、同時に数値化される学力を重視する住民からの攻撃にさらされ、教育とは何かをめぐる論争にもつながった。



Book3

教育学入門

著者：藤田英典、田中孝彦、寺崎弘昭　出版社：岩波書店

コメント：田中孝彦執筆部分で丹羽徳子の生活綴り方教育実践の意義について論究している。

Book4

それでも私たちは教師だ－子どもたちと共に希望を紡ぐ－

著者：白木次男　出版社：本の泉社

コメント：地震、津波、原発事故による複合的被災の福島県南相馬市の小学校の教師による、2011年3月11日からの1年間の実践記録。津波や原発事故を体験した子どもたちが、その体験を綴り教室で読み合い、3月11日とその後をともに考えあった。放射能が人体に及ぼす影響と被ばくを防ぐための授業の記録もある。